

平成29年度 宮崎県立日南くろしお支援学校 学校関係者評価

4段階評価 「4…期待以上である」「3…ほぼ期待どおりである」「2…やや期待を下回る」「1…改善を要する」

評価項目	評価指標	学校の自己評価コメント	自己評価	保護者評価	学校関係者評価	学校関係者評価コメント
(1) 学校経営	① 学校は、教育方針を保護者に分かりやすく伝えていますか。	シンプルな教育方針のもと、ホームページの定期的なブログ更新を推進するなど、教育活動の発信に積極的に取り組んだ。今後もSNSを活用するなど、新たな取組を模索しつつ啓発に努めた。	2.8	3.3	3	教育活動の発信に積極的に取り組んできた成果ではないか。数年前に課題としてあがったホームページの更新も取り組まれている。引き続き取組を継続してもらいたい。
	② 学校と家庭が連携して効果的な指導をしていますか。	学校と家庭と連携した効果的な指導については、ある程度達成できたのではないかと考える。一方、増加傾向にある家庭支援に対しては、校内支援体制の強化を含め、関係機関との更なる連携を推進したい。	2.8	3.3	3	家庭への支援や家庭環境などについて、関係機関と今以上に情報交換できるとよいのではないか。諸問題を担任が一人で抱え込むことがないよう学校全体で取り組んでもらいたい。
(2) 課程	① 保護者の意見を反映させて、児童生徒の実態に応じた個別の指導計画を作成し、指導に活用していますか。	今年度も、子供や保護者の教育的ニーズをいかした指導に努めてきた。次年度は、個別の支援計画と個別の指導計画の系統性や一貫性について検証しつつ、引き続き取り組みたい。	2.8	3.3	3.2	子供の変化について親の気付かないところに気付き活動するなど、先生たちはよく取り組まれている。引き続き子供たちのために頑張ってもらいたい。
(3) 教育指導及び教育活動	① 児童生徒は学校に行くのを楽しみにしていると思いますか。	児童生徒は様々な教育活動を通し、日々楽しみながら学習することができたのではないかと考える。今後も一人一人の特性に考慮した指導に配慮しつつ取り組んでいきたい。	3	3.3	3.3	子供たちが元気よく外で走り回ったり、活動する様子が日々見られ、学校は楽しく学べる場となっているように感じる。道ですれ違う子供たちの表情も豊かである。産業現場等における実習でも、実習生たちはメリハリある挨拶や行動ができています。学校の指標である「今日に満足して、明日を楽しみにする学校生活」につながるよう、引き続き教育活動を活発に展開して行ってほしい。
	② 学校は、児童生徒の各課題に応じた、分かりやすい授業や生きる力を育む指導を行っていますか。	今年度は「自立活動」を中心に研修を行い、職員の更なる専門性の向上に努めてきた。そのことが、主体的かつ生きる力を育む指導や授業につながったのではないかと考える。引き続き取り組んでいきたい。	2.8	3.4	3	
	③ 学習効果を高めるための教材教具の工夫や改善をしていますか。	児童生徒が興味関心をもちながら取り組める教材教具の工夫に引き続き取り組んでいきたい。	2.7	3.3	3	
	④ 個々の実態に応じた進路指導及び職業理解のための情報提供、進路相談が実施できていますか。	進路に関する情報伝達が高等部にどうしても偏る面があるので、他学部保護者への説明会などを通し情報提供に努めた。今後もあらゆる機会を通し取り組みたい。	2.6	3.2	3	
(4) 施設・環境	① 施設や設備（遊具）の整備や清掃が行き届き、安全管理が十分なされていますか。	施設については、40年目を向かえ随所に老朽化が目立つ状況にある。本年度はトイレ改修において洋式化が進められた。今後も事務と連携しながら、遊具や施設の安全を徹底していきたい。	2.6	3	3	学校は、地域の一つの避難先としてありがたい。しかし、昼間なら職員がいるが、休日は不在となるので、そこは課題である。また、スクールバスでの登下校中に緊急事態にあった場合の対応にも若干不安がある。地域と連携した取組も含めて、課題解決に取り組んでもらいたい。
	② 災害や不審者への対応と安全指導、緊急時の対応が整備されていますか。	○ 津波の際の屋上への避難階段が設置されたが、立地的に常に不安が残る。今後も、地域の方の参加も検討しながら定期的に避難訓練を実施し、もしもの際の対応を浸透させていきたい。	2.6	3	3	
(5) 説明責任	① 保護者に学校や学部（学級）の情報を伝えることができていますか。	必要な情報が十分伝達できていたからか、今年度は昨年度より高い評価をいただいた。今後も積極的に保護者と情報共有していきたい。	2.9	3.3	3	今まで以上に情報発信に努めたことの成果ではないか。また、地域資源をいかした教育活動に取り組んだ成果ではないか。今後も引き続き継続して行ってほしい。
	② 地域・関係機関に学校の取組や必要な情報を伝えることができていますか。	創立40周年を活用し、地域で引き継がれてきた神楽を高等部が文化祭で発表したり、地域へ全体でチラシ配付を行うなど、地域を活用した教育活動に取り組んだ。次年度も更に地域との協働を模索した教育活動に取り組みたい。	2.7	3.1	3	
(6) その他	① PTA活動は計画的で、PTAに対する保護者の関心が高く協力的ですか。	評価数値は昨年度と変わらないが、徐々にだが評価は上昇してきている。しかし、依然として活動が一部の保護者に限られ、多くの保護者をPTA活動に巻き込んでいく有効な手段については難航している。今後も、参加しやすいよう工夫を凝らしていきたい。	2.8	2.7	2.8	多くの学校が同様の課題を抱えている。気長に言葉掛けを続けていくなど、プラス思考で啓発に取り組んでもらいたい。